

金融サービスに対する規制政策の変更の可能性および2017年における保険セクターのM&Aへの影響

変更の手段

保険セクターのM&Aへの影響

立法の動向

- 保険セクターは、ドッド・フランク・ウォール街改革および消費者保護法 (Dodd-Frank Wall Street Reform and Consumer Protection Act (P.L. 111-203)) 第165条に成文化された、SIFI指定および監督強化や健全性基準賦課がなされる法定資産基準の適用を免除される可能性がある。
- より大幅な柔軟性を許容するためにボルカー・ルールが廃止または修正される可能性がある。
- FSOCの活動が透明性の向上を要求され、議会の予算承認の対象となる可能性がある。
- 共和党政権と議会が、保険業界に関して州規制当局をより尊重するようになることが期待されている。
- 特に、SIFI指定が変更された場合、全体的な規制の負担が軽減されるため、保険会社が容易にM&Aを行えるようになると見られる。
- SIFIの回避が問題にならなくなった場合、一部の大手企業の資産売却の取り組みが棚上げにされる可能性がある。
- ボルカー・ルールが改正された場合、金融サービス組織がオルタナティブ投資運用ビークル (例えば、ヘッジファンドやPE) に投資する方法に影響を与える可能性がある。

機関レベルにおける現行規則またはガイダンスの改正

- DOLは、受託者基準の「利益相反」規則に関して当初予定していた2017年4月の遵守期日を先送りする可能性がある。
- 財務長官は、FSOC議長として、ノンバンク金融会社の既存の指定を取り消すことを模索し、また追加的な指定を続けることを拒否する可能性がある。
- DOLの受託者基準およびそれに関連する免除規定の遵守期日は、保険業界において戦略的な再構成や資産売却をすでに引き起こしている。しかしながら2017年には、諸組織は同規則によって作り出された進路を選択する前に、遵守期日の先延ばしにより状況が明確にされるのを待とうとするかもしれない。このことは、ポートフォリオの変更、M&A活動、経営モデルおよびコンプライアンスの強度に影響を与えるとともに、事業遂行コストを構成するリスクの性質を変える可能性がある。そして、規制政策および業界の選択を受けて、マーケットにおける将来的な収益プールの構造が影響を受ける可能性がある。また、現在ディールメイキングを困難にしている要因の1つは、デューデリジェンスにおける包括的資本分析およびレビュー (Comprehensive Capital Analysis and Review: CCAR) の試算をモデル化することであることから、この分野における緩和は、主要なディールメイキングの阻害要因を低減すると見られる。

インシュアテック能力の焦点

■ ビジネスプロセス・イネーブルメント

医療保険／給付(4)
請求／支払(13)
オンラインブローカー(1)
自動車(5)

■ アグリゲーター

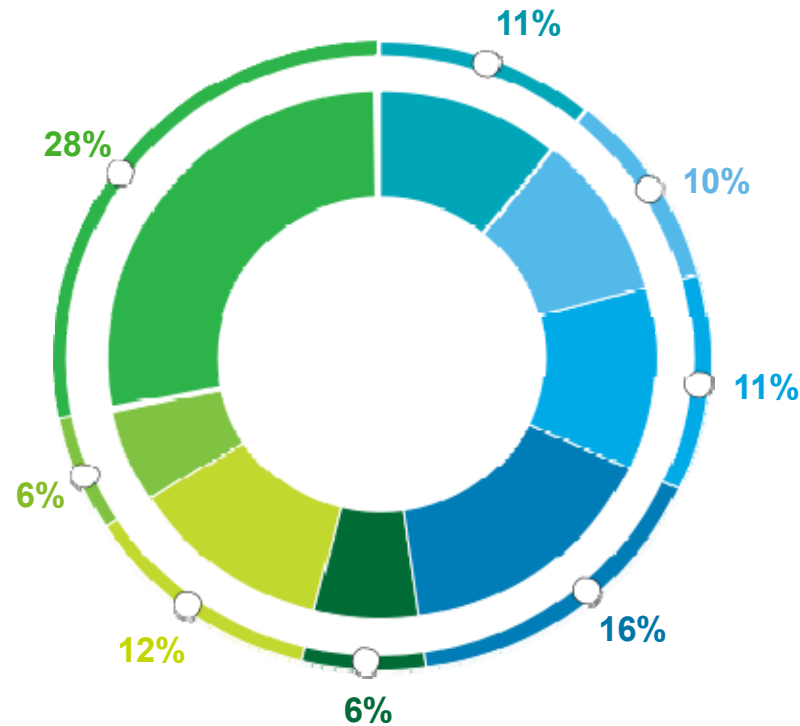
小規模会社(6)
損害保険(19)
生命保険(8)

■ 販売モデル

ピアツーピア(4)
ジャストインタイム(5)
代理店のアウトソーシング(3)

■ 保険金支払の効率性改善

携帯電話による保険金請求(9)
保険金支払の記録管理／保管(3)



■ ロボティクス／自動化

ロボ・アドバイザー(16)
自動運転車(3)
ドローン(4)

■ 保有契約のアナリティクス

機械学習(1)
リスク管理(P&C)(6)
リスク管理(L&A)(5)
リードジェネレーション(13)

■ センサー

住宅(14)
健康・福祉(19)
その他(6)
自動車(18)

■ 技術インフラ

保険契約管理技術(16)
サイバーセキュリティ(3)
ブロックチェーン(2)